

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

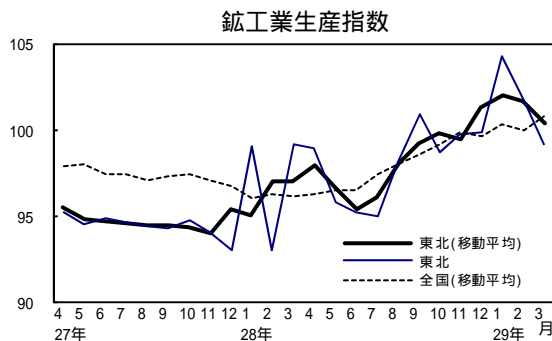
前回調査からの主要変更点

| | 前回 (平成 29 年 2 月) | 今回 (平成 29 年 5 月) | |
|------|------------------|------------------|--|
| 住宅建設 | 増加 | 大幅に減少 | |

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

1～3月期は、電子部品・デバイス、データセンターや車載向けのシリコンウエハ、コネクタ等が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、超硬工具、産業用ロボット等が増加した。食料品・たばこは、生菓子、水産練製品等が増加した。情報通信機械は、産業用テレビ装置等が減少した。輸送機械は、乗用車やシャシー・車体部品等で増加した。



(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前取月比) (%)

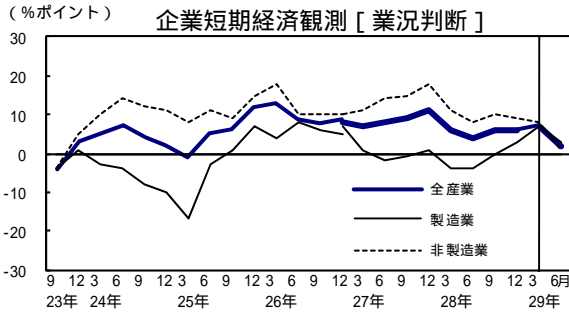
| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | | | |
|---------------|--------------|-------------|-----------|------|-----|-----|
| | | 10～12 月期 | 1～3 月期 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 電子部品・デバイス | 16.9 | 7.2 | 0.4 | 0.4 | 1.8 | 7.3 |
| はん用・生産用・業務用機械 | 14.7 | 2.7 | 2.8 | 16.1 | 8.1 | 1.6 |
| 食料品・たばこ | 10.6 | 1.1 | 1.8 | 1.3 | 4.3 | 2.5 |
| 情報通信機械 | 9.2 | 10.7 | 1.9 | 2.4 | 0.4 | 2.2 |
| 輸送機械 | 8.3 | 8.0 | 9.4 | 3.2 | 1.6 | 3.2 |
| 鉱工業 | 100.0 | 1.4 | 2.3 | 4.5 | 2.5 | 2.6 |

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

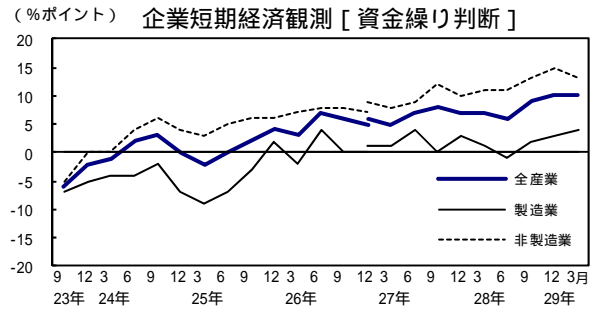
2. 1～3月期、3月は速報値。

(2) 業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

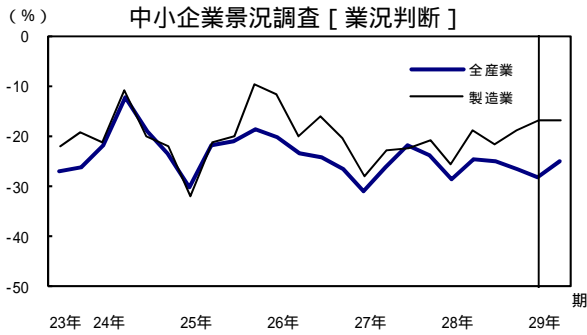
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年6月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。

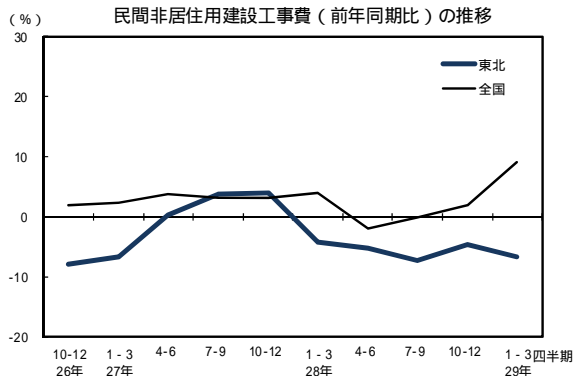


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「コンビニ出店の増加などを要因とした物量の増加や、自動車業界における新型車投入のインパクトなどはあるものの、個人消費自体のトレンドには変化がみられない(金融業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は減少している。



企業短期経済観測調査[設備投資(3月調査)]

| | (前年度比、%) | |
|------|-------------|--------|
| | 28年度実績見込み | 28年度計画 |
| 全産業 | 13.3 (2.1) | 1.0 |
| 製造業 | 19.2 (8.4) | 8.7 |
| 非製造業 | 7.3 (6.2) | 7.8 |

(備考) ()は前回(12月)調査比修正率。

(2) 東北

2. 需要の動向

(1) 個人消費は足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比1.4%減、2月は同2.0%増、3月は同1.3%減となった。

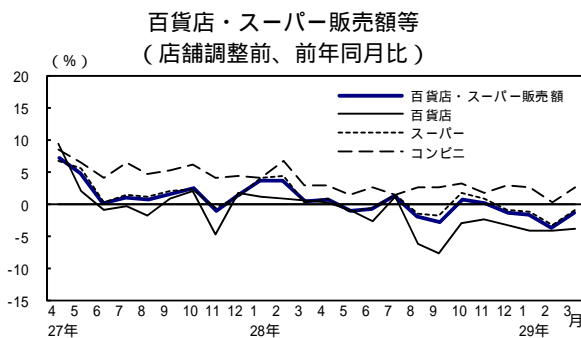
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、コートやニットなどの衣料品、生鮮品や菓子などの飲食料品がふるわず、前年を下回った。2月は、衣料品は、紳士スーツや春物衣料などが、飲食料品は、生鮮品や総菜などがふるわなかったことから前年を下回った。3月は、高級時計や絵画などの高額品に動きがみられたものの、紳士スーツや春物衣料などの衣料品、生鮮や総菜などの飲食料品等がふるわなかったことから、前年を下回った。

スーパーは、衣料品、飲食料品ともに前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「4月からエコカー減税の基準が厳しくなっており、新車の販売量が伸び悩んでいる (乗用車販売店)」など「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

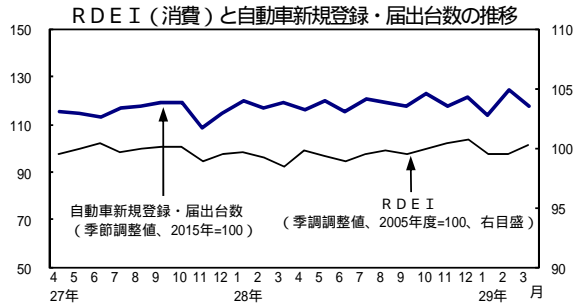


| | 29年1-3月 | 29年1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|---------|-------|-----|-----|
| RDEI (消費*1) | 0.4 | 1.4 | 2.0 | 1.3 |
| 百貨店・スーパー(*2) | 2.2 | 1.8 | 3.6 | 1.4 |
| 百貨店(*2) | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.0 |
| スーパー(*2) | 1.8 | 1.3 | 3.4 | 0.8 |
| コンビニ(*2) | 1.9 | 2.6 | 0.2 | 2.7 |
| 乗用車(*3) | 4.5 | 0.6 | 1.8 | 8.6 |
| (季節調整値)(*3) | 2.8 | 5.5 | 0.4 | 3.1 |

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は大幅に減少している。

持家、貸家、分譲いずれも前年を下回ったことから、大幅に減少している。

(3) 公共投資は28年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。

